

## ふるさとだより

「大寒」（1月20日）以降、待つていたかの様に冬將軍が到来し、日本各地で猛威を振るっており。長野県では、降り積もった雪の重みで橋が崩落したとの報道も。宇治田原の子ども達にとっては楽しい雪も、豪雪地域の人々にとっては間違いなくやつかいもの。間もなく立春、春が訪れ『雪消月』となることを願うばかりです。『町民の窓』をご愛読いただきありがとうございます皆さまにおかれましては、ますます

ますご



無言で経が唱えられる中、軒下の板に青竹を叩き付け、病魔退散を願いました。高尾・縁たたき（1月14日）



大蛇に見立てたしめ縄は、神縄橋北側の榊に巻き付けられ、災いから集落を守ります。荒木・神縄座（1月9日）

清祥のこととお喜び申し上げます。新年を迎えて町内では、一年の息災を願う地域の伝統行事や誓いを新たにす新春恒例の式典行事が行われました。

紙面にもありますように、町内の112名が新成人として門出を迎えました。取材で新成人の方とお話しさせていただきましたが、清々しい若者ばかり。写真を撮り終えると「ありがたいございました」と向こうからお礼の言葉。取材している私も晴れ晴れとした気持ちになりました。このような新成人ばかりなら、厳しい社会情勢にある今にあっても、日本の社会、宇治田原の未来は明るいと確信を持ったところです。

最後になりましたが、もうしばらく寒い日が続きます。次号までどうかご自愛のほどを。

平成24年2月吉日

総務課広報担当